

令和元年六月二五日（火）

俳人協会福島県支部 第三十三回俳句大会成績

坂内佳禰講師特選

桃の花流水尽きず人住めず	田村市	橋本研二
潮垢離の神輿も人も発光す	いわき市	猪狩行々子
花冷の十指を組みて人を待つ	福島市	久保羯鼓

高得点句

1位 潮垢離の神輿も人も発光す	いわき市	猪狩行々子
2位 少年も葦毛も春の風となり	南相馬市	木幡テイ
3位 八十の軽きときめき春シヨール	会津坂下町	齋藤律子
4位 桜蕊降るジーンズの似合ふ喜寿	田村市	村上ツヤ子
5位 雛段に海の匂ひの貝飾る	埴町	大友康子
6位 初夢を少し脚色して語る	南会津町	柏倉清子
7位 花冷の十指を組みて人を待つ	福島市	久保羯鼓
8位 日を吸うて日暮に灯る吊し柿	三春町	大越瑛子
9位 縄固く男結びに冬構へ	湯川村	小林喜久雄
10位 こけし挽く工房の香や涼新た	三春町	佐久間晃祥
11位 眼底を覗かれてゐる原爆忌	会津美里町	小林雪柳
12位 初電話やがて家族となる人へ	埴町	田村美江子
13位 碑に見ゆる志士の享年春疾風	只見町	飯塚恒夫
14位 このままの晩年でよし春菜つむ	会津坂下町	荒木幸子
15位 もうここに住まぬと言ひつ野に遊ぶ	南相馬市	大杉恵子
16位 絵蠟燭点り深雪の鶴ヶ城	本宮市	葉貫琢良
17位 割烹着まとへば母よ昭和の日	いわき市	西山逢美
18位 帰村せし老農ひとり冬田打つ	南相馬市	西内正浩
19位 機関車の名は金太郎山笑ふ	須賀川市	永瀬十悟
20位 水草生ふ翅ある物は光り飛ぶ	郡山市	加藤十美子